

研究課題名	刺激伝導系ペーシングにおける成功基準の評価に関する検討
研究の意義・目的	ペースメーカー植込み患者において、右室心尖部（しんせんぶ）ペーシングは非同期的収縮を生じ、心機能低下や心不全増悪を引き起こすことが報告されています。刺激伝導系ペーシングは刺激伝導系を捕捉するペーシング法の総称であり、より生理的な興奮伝播様式を保持するため、術後の心不全入院や心機能低下を減らすという報告があります。刺激伝導系ペーシングの成功基準として多数の評価項目が挙げられていますが、術中に体表心電図がリアルタイムで記録される EPlabo システムを用いて心電図を解析し、評価を行うことが一般的であり、刺激伝導系ペーシングの成功率はおよそ 90%と報告されています。本研究では刺激伝導系ペーシングを施行する際の術中の成功基準の評価をより簡便なモニター心電図で行い、術後に EPlabo システムを用いて従来の成功基準に当てはまるかどうかを、従来の術中に EPlabo システムを用いた場合と比較することで、モニター心電図で刺激伝導系ペーシングを行うことの妥当性を検討します。この方法で一定の成功基準を満たせば、より簡便で短時間で刺激伝導系ペーシングを行うことが可能となり、植え込みデバイスの発展に寄与することが可能となります。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2029 年 5 月
研究協力を お願いしたい方 （対象者）	2021 年 1 月～2024 年 5 月に大阪公立大学医学部附属病院の循環器内科でペースメーカー植込み手術を受け、刺激伝導系ペーシングを試みた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、血液検査データ、12 誘導心電図、経胸壁心臓超音波検査、ペースメーカー測定値、術中測定データや手術時間
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科循環器内科学のみで行います。 【研究責任者】福田大受
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 循環器内科 担当者氏名：若狭 志保 電話番号：06-6645-3801